日経関発第02－1002号
令和２年６月１日

固定資産税課長
資産税課長
課税課長
税務課長
殿

一般社団法人 日本経営協会
関西本部長　山下裕和

～新任担当者のための短期集中講座～

【NOMA行政管理講座（大阪）開催のご案内】

基礎からわかる家屋評価の仕組みと評価計算

関西限定講座！　～家屋評価実務の仕組みから木造家屋評価演習までの集中解説～

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。
本会事業活動には、平素より格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、固定資産税は土地、家屋及び償却資産に対し課せられ、各市町村の税収の約4割を占める重要な税です。そのため、評価担当者は公正・公平な評価を行わなければなりません。
しかし、家屋評価については、評価計算が非常に複雑かつ理解しづらく、評価額の算出誤りも起こってしまいます。また、特殊な状況に関しては、各担当者が様々な角度から判断し、納税者に対して説明しなければなりません。
そこで、本講座では、家屋評価の仕組みから、実地調査におけるノウハウや留意すべき評価計算の事例などを分かりやすく解説いたします。また、令和3基準年度は評価替えです。令和3基準年度　再建築費評点基準表の変更（案）及び固定資産台帳の登録された価格によって起こりうる「審査申出」についても解説いたします。
公務ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係各位多数のご参加をおすすめ申しあげます。

敬具

記

日時：**令和2年10月6日（火）** 10：00～17：00
10月7日（水） 9：30～16：30

会場：**本会専用教室**（大阪市西区靱本町1－8－4 大阪科学技術センタービル内）

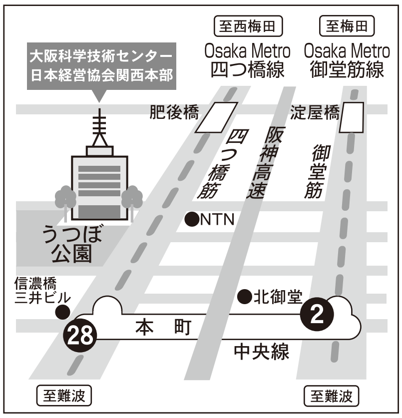
講師：税理士 **小川正己** 氏

参加料（負担金）：

	参加料	消費税	合計
本会会員（1名）	29,000円	2,900円	31,900円
一般（1名）	32,000円	3,200円	35,200円

※銀行振込の手数料は貴団体にてご負担ください。

〈会場案内図〉



■大阪方面よりお越しの場合
▶ 四つ橋線「本町」駅下車（28号出口）北へ徒歩5分
■新大阪方面よりお越しの場合
▶ 御堂筋線「本町」駅下車（２号出口）西へ徒歩8分
■なんば方面よりお越しの場合
▶ 四つ橋線「本町」駅下車（28号出口）北へ徒歩5分
▶ 御堂筋線「本町」駅下車（２号出口）西へ徒歩8分

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX等にて、下記へお申込みください。**折り返し参加券と振込銀行・口座名を記載した請求書を連絡ご担当者宛にお送り致します。**（参加申込は参加券の発送にて確認させていただきます。不着の場合は必ず前日までに電話でご確認ください。）
なお、参加料は開催日までにご納入賜りますようお願い致します。
・領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきますのでご了承ください。
・参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。
・お納めいただいた参加料は、原則として返却いたしかねますので、参加申込の方がご都合の悪い場合は、代理の方にご出席いただきますようお願い致します。

キャンセル：開催日の３営業日前～前日のキャンセルは受講料30％、開催当日のキャンセルは100％をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合でも、100％のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

ご宿泊：ご参考までに会場周辺のホテルを下記のとおりご案内申しあげますので、必要な場合は直接ホテルへお早めにお申込（予約）ください。**（※本会では宿泊手配（予約）はいたしておりません。）**※宿泊料は変更になる場合がございます。

ホテル名	宿泊料（シングル）※下記料金に別途、宿泊税が加算されます。	交通	ホテル電話
リーガプレイス肥後橋	8,200円（税･サ込）日本経営協会優待料金	会場より徒歩10分	06－6447－1122
ハートンホテル西梅田	8,500円（税･サ込）日本経営協会優待料金	JR大阪駅より徒歩5分	06－6342－1111

お申込み お問合せ先：**一般社団法人 日本経営協会　関西本部　企画研修グループ**（担当：原）
〒550-0004　大阪市西区靭本町１－８－４　大阪科学技術センタービル５階
TEL 06(6443)6962(直通)　FAX 06(6441)4319　URL https://www.noma.or.jp
（※お問合せは、月～金曜日の9：15～17：15にお願い致します）

▶ プログラム ◀

Ⅰ. 固定資産評価基準の意義

1. 固定資産評価基準とは
2. 法的性格は
3. 「適正な時価」とは
4. 家屋評価の考え方は
5. 再建築価格方式が採用された経緯
6. 再建築価格方式における同一のものとは
7. 建築費と再建築価格の関係
8. 固定資産税の価格と不動産鑑定における価格の相違点

Ⅱ. 家屋評価の基礎実務

1. 家屋の意義
2. 家屋評価の仕組み
3. 家屋の課税客体
4. 家屋の分類
5. 床面積の算定
6. 区分所有家屋の取り扱い

Ⅲ. 実地調査の方法及び接遇

1. 実地調査
2. 現地調査におけるノウハウ集

Ⅳ. 木造家屋評価実務
＜部分別の解説（屋根～その他工事まで）＞

Ⅴ. 補正計算（項目別補正計算）の方法その他

Ⅵ. 令和３基準年度変更点

Ⅶ. 審査申出について

Ⅷ. 評価演習（木造家屋専用住宅）

立面図、平面図、矩計図及び調査確認事項により
一棟の再建築費評点数の算出

講師紹介

税理士 **小 川 正 己** 氏

2005年3月 東京都を退職
7月 小川正己税理士事務所を開設

＜持参物＞ ※必ずご持参ください。

① 電卓
② H30年単位当たり標準評点数の積算基礎（固定資産税務研究会編・（一財）地方財務協会刊）
③ H30年固定資産（家屋）評価基準・再建築費評点基準表（固定資産税務研究会編・（一財）地方財務協会刊）
※ 令和3基準年度用が発行されていれば令和3基準年度
④ 評価ハンドブック
⑤ 三角スケール

（※本講座の「出張講座」も承っておりますので、お問合せください。）

【講座のねらい】 ～事例で学ぶ家屋評価演習～

・短時間で、木造家屋の仕組みについて要点をしっかり解説いたします。
・事例を用いて、木造家屋の評点付設の基本から補正係数の算出までをシステムではなく、手計算で評価計算できるようしっかり解説いたします。
・プロジェクターを使用し部分別の写真、図の解説をしながら評価計算いたします。
・平面図、調査確認事項等により一棟の単位当たり再建築費評点数を算出いたします。
・納税者への説明責任を果たす力をつけ、実地調査・評価計算ができるように指導いたします。

（2.0）

--------------------キ　リ　ト　リ　線--------------------

FAX(06)6441-4319　一般社団法人 日本経営協会・関西本部（原）宛（この面をそのままFAXして下さい。）

NOMA 「基礎からわかる家屋評価の仕組みと評価計算」参加申込書（5566）			R2. 10／6～7
（フリガナ） 役所名 （団体）		TEL （　　）	・お支払い方法 ☐ 銀行振込 ☐ その他 通信欄
		FAX （　　）	
所在地	〒		
フリガナ 参加者氏名	所属部課・役職名	担当経験年数	（該当にレ印をつけてください。） ・参加料 ☐ 会員（1名）31,900円 ☐ 一般（1名）35,200円
		年　ヵ月	
		年　ヵ月	所属
		年　ヵ月	フリガナ ご連絡担当者
今後、E-mailによる行政管理講座のご案内をご希望の方は、アドレスをご記入ください。	E-mail：		

(注)太ワクの中をご記入ください。※印は当協会記入欄です。（経験年数は、現在の部課での担当年数をご記入ください。）

※ 参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
① 参加券や請求書の発送などの事務処理　② セミナー・イベントなど本会事業のご案内(なお、②がご不要の場合は☐にチェックしてください。—— ☐ 不要)